

逃避行、自決、飢え、ソ連兵による強姦、子殺し、抑留…。

# 植民地支配のつけを払わされた女たち



いくた みちこ  
生田 美智子 著

四六判上製 410 頁 ISBN:978-4-409-52086-4  
本体価格 4200円 (定価 4620円)

※ポイント…開高健ノンフィクション賞受賞作『ソ連兵へ差し出された娘たち』（平井美帆著、集英社刊）や『女たちのシベリア抑留』（小柳ちひろ著、文藝春秋刊）といったヒット作によりこのジャンルが注目を浴びています。NHK ドキュメンタリーでも話題になった研究の第一人者の生田さんによる待望の大著です。

敗戦により追われた女たちはどのような運命をたどったのか？  
精力的な調査、聞き取りと資料により明らかにされた女性のシベリア抑留研究に先鞭をつけた著者による研究。



書影

— もくじ —

- 第一章 女性抑留者研究のこれまで
- 第二章 シベリア抑留のプレヒストリー——日露・日ソ関係略史
- 第三章 満洲の女性たち——なぜ満洲へ行ったのか
- 第四章 女性たちの日ソ戦争——典型例としての佳木斯第一陸軍病院女性部隊
- 第五章 女性たちの敗戦
- 第六章 女性のシベリア抑留——なぜ起こったのか
- 第七章 女性のシベリア抑留の実態——その全体像
- 第八章 初期の抑留
- 第九章 看護労働目的の移動——死者増大への対応
- 第一〇章 特別病院への移動
- 第一一章 その他の移動

## 著者 生田 美智子 (いくた・みちこ)

1946年生まれ。大阪大学名誉教授。「ハルビン・ウラジオストクを語る会」代表。専門は日露日ソ交流史。著書に『大黒屋光太夫の接吻』（平凡社、1997年）、『外交儀礼から見た幕末日露交流史』（ミネルヴァ書房、2008年）、『高田屋嘉兵衛』（ミネルヴァ書房、2012年）、『女たちの満洲』（編著、大阪大学出版会、2015年）、『ロマノフ王朝時代の日露交流』（監修、勉誠出版、2020年）など。雑誌『セーヴェル』を発行。

人文書院 京都市伏見区竹田西内畑町9 TEL:075-603-1344

ご注文はこちらまで→ 人文書院 F A X 番号 **075-603-1814**

新刊注文書	番線印	販売条件／新刊委託	版元	人文書院	著者	生田 美智子	担当者
	書名		満洲からシベリア抑留へ			本体 4200 円	
	冊		ISBN978-4-409-52086-4 ※フリー入帖いたします(了解者:佐藤)				
既刊注文書	番線印	販売条件／返条付注文	書名	神々は真っ先に逃げ帰った —棄民棄兵とシベリア抑留		本体 3800 円	担当者
	冊		ISBN978-4-409-52081-9				
	書名		シベリア抑留者への鎮魂歌 富田武 著		本体 3000 円		
			発行所：人文書院		※フリー入帖いたします(了解者:佐藤)		